

公開シンポジウム「プラトンと現代」

主催＊法政大学文学部哲学科

協賛＊法政大学人文科学研究科哲学専攻

法政哲学会

日時＊2018年6月23日（土）午後13時開場、13時30分開演

場所＊法政大学市ヶ谷キャンパス ゲート棟401教室（G401）

開催趣旨＊プラトンについて自由に語ろう！

哲学科の専任教員がそれぞれの学問的立場から

プラトンの哲学について自由に語る。

参加費無料、予約不要

問い合わせ先 文学部哲学科資料室 電話 03（3264）5438

プログラム＊

第1部 13時30分～15時00分

開会の辞 哲学科主任・内藤淳

発表（一人20分）

① 「プラトンとはどういう哲学者か」 奥田和夫

② 「プラトンって誰？」 中釜浩一

③ 「プラトニック・ラブ」 星野勉

④ 「ニーチェとプラトン」 笠原賢介

第2部 15時15分～16時15分

⑤ 「プラトン『プロタゴラス』篇が現代に投げかける光と影」 山口誠一

⑥ 「プラトンとフランス現代思想 — バタイユとデリダにおける哲学への問い」 酒井健

⑦ 「哲学はなんのために — アーレントのプラトン批判を手掛かりに」

牧野英二

第3部 16時30分～17時30分

全体討論 （発表者相互の討議と会場との質疑応答）